

呉ジュニアテニスクラブについて

2009年3月

大田

【私のテニス観】 たかがテニス、されどテニス テニスは経済的で親しみやすいスポーツ		テニスは世界的にも人と交流しやすいスポーツ テニスは年齢に関係なく継続性が高い生涯スポーツ	
No	区分	内容	
1	主旨	(1) 体力及び精神づくり(スポーツを通じて、挨拶・時間厳守等の規律を守る人間の育成) (2) 硬式テニスの普及	
2	立場	親の立場	子供の立場
		<ul style="list-style-type: none"> ・子供の健康(ゲーム機離れ) ・良い趣味になれば ・体力、精神づくり(運動神経を) ・文武両道の子供に! ・親子の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と楽しい遊び場 ・上手になると嬉しい ・嫌だが親の薦めで仕方なく ・勉強のストレス解消 ・テニス界で活躍したい
3	対象学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には小学3年生以上(小学生～高校生) ・問題点: 中学に硬式テニス部が無い所が多く、ソフトテニスと両立が困難で伸び悩む。 (邪道ではあるが、硬式ラケットでソフトテニスは出来る。) 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・バレコート: 月2回、呉市テニス協会(堀田会長)の威光で確保しているが、これ以上は無理 ・焼山コート: 昭和支所抽選に有志(古村、植村)が参加して何とか確保している。 場所や時間帯変動(HPで確認) 固定化は無理? もっと良い場所はないかを模索 	
4	練習場所	<ul style="list-style-type: none"> ・現状: 2回～4回/月...2回/月では雨天が続けば、無い月が発生してしまう。 何とか4回/月を基本とする。しかし、これ以上、増やすと皆の負担が大きくなる。 	
5	回数	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は、全体で4時間 親の待ち時間も考慮して2時間で区切 	
6	練習時間	Cクラス: 2時間1面	A偏重、同意?
		Bクラス: 2時間1面	
7	練習方法	Aクラス: 2時間2面	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生以上の試験期間はAクラス人数が少なく、コートが空き勿体ない。 B, C + 親が利用?
		<ul style="list-style-type: none"> ・最初の2時間はB, Cで後半の2時間はA B, Cは基本練習が主で試合ができない ・毎回、同じパターンでは、面白くない。 コーチが参加メンバーを見て工夫をする。 ・特に初級(Cクラス)ではコーチが玉出しをしていると個別指導ができ難い。 できるだけ、上手な親が玉出しをして、コーチが個別指導をする方が効果が高い。 	
8	クラス分け	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ同レベルを集めて練習しないと難しいのでクラス分けは必要。 ・うちの子は、いつまでもCクラスで上達しない。 ラケットにやっと球が当たる新人にターゲットを合わせてばかりいると、少し先輩が伸びない。 ・無理やり昇級させても、本人が嫌がる子供もいる。 親は子供と話し合い、本人の意向も確認して欲しい。 	
9	親子区分	<ul style="list-style-type: none"> ・親も遠慮無く練習に参加して良いことにする。 ・但し、あくまでも子供が主体なので、子供の参加人数が多い時は控える。 (親だけの練習は、子供の休憩時間など状況を見てコーチが指示をする。) 	
10	道具	<ul style="list-style-type: none"> ・焼山コートでやる場合は、なるべく用具を少なく(ボール4籠)して親の運搬負担を軽くする。 ・中古ボールをコーチが貰って補給するのでボールは購入しなくとも良い。(試合用も用意する) 但し、バウンドしない悪いボールが増えて行くので、定期的に選別して捨てて欲しい。 (そのためには、父兄で駄目ボールの判定能力を身に付けて欲しい。) 【備考】中学にクラブがないのは、ボール代が高い要因もある。クラブ設置の場合は、テニス協会からも各種団体に呼びかけ中古ボールを提供するように取計らいたい。 	
11	イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿 : 親は色々大変だが年に1回ぐらいは合宿をして、親子の思い出作りをしたらどうか。 ・内大会 : クラブ内で年に1回、大会を開催して、モチベーションを上げてはどうか。 内大会が定着するようであれば、テニス協会の協力も得て、呉ジュニアオープン大会にして行きたい。また、スポーツ少年団への加入も、再検討する。 【参考】焼山ジュニア(小3～6)では、その他に親子大会、終了式、親睦会、里帰りの日、努力賞 	
12	外部試合	<ul style="list-style-type: none"> ・レベルの高い子供は、積極的に各種大会に出場して色々な経験を積むのが良い。 但し、勉強をおろそかにして試合に出るテニス馬鹿にはなって欲しくない。 	
13	父兄へ	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の幹事さんは、シッカリしていて、他の父兄も良く協力して下さるのでうまく運用できている。 とかく多人数になるとテニスに対する価値観も様々で、色々な意見や不満も出て来る。 今後、子供たちも大きくなり、世代交代して行っても、皆の協力で本クラブの発展継承を! うまく運用して行くための規約を幹事が改訂して行く。(但し、シンプルな規約とする。) ・総会を情報交換の場として今回初めて開催したが、今後の定期的開催については幹事が判断 ・子供の送迎と事故防止に気遣いをお願いしたい。親に用事があると連れて行けない課題 ・親は名コーチになれない。親の注意はうるさい(子供は潜在的に親を乗り越える宿命を持つ) 	
14	子供たちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我: コーチが指示した以外の行動を取らない。ボールを踏んで怪我をしないよう注意 ・早く上達する子供は、コーチの指導を真剣かつ素直に聞き入れて、吸収している。 学校の勉強でもそうだが、先生を尊敬することで吸収力が生まれ、成績が上がる。 ・向上心を持って貰いたい。(順番を待つ間に遊んでいる。)。何でもやる時は真剣にやる! ・ジュニアを卒業して大学生になっても夏休みなどには、里帰りをしてコーチ役で参加して欲しい。 	